

もくじ

| | | | |
|--------------|----|-----------|----|
| えび人 vol.20 | 02 | 情報 | 11 |
| 今号の表紙 | 03 | 市民の広場 | 12 |
| HUGHUG子育て | 04 | ホール・ギャラリー | 16 |
| 2019えびな救急フェア | 06 | 相談 | 17 |
| | | 図書館 | 18 |

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み
 高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ 2019対象
 市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



海老名のみんなは明るく元気なので力強く書きました。
海老名小学校 畑中日咲乃さん(10歳)

写真

タイトル：緑園散歩
撮影場所：大谷近隣公園
撮影者：国分北在住
小島トシ子さん



編集雑記

来月から指定収集袋の販売が始まります。使う袋を少なくしたいので家じゅうのごみ箱の洗い出しをしました。ごみ箱とのバランスで家具の配置が気になり、途中から部屋の模様替えに。一苦労したけれど、おかげで気分一新。すっきり爽快。新たな形でのごみ出しも気持ちよく臨みたいと思えた1日でした。(あ)



田んぼの潤い守り、未来へ

曾祖父の代から水路の恩恵で水田を営んできた柳田家。柳田さんは幼い頃から「相模川左岸幹線用水路」がある風景の中で育ちました。「私が田んぼを始めた昭和30年代頃の田んぼの助っ人は馬や牛だった。耕作方法や風景は変わるけど、これだけは変わらないね」と一直線に流れる用水路を見て言います。

「相模川左岸幹線用水路」は、相模原から茅ヶ崎までの5市1町の水田を潤している昭和初期にできた農業用水路。用水路本線は市内を約8キロにわたって縦断しています。「水路の位置が田んぼより高いから、板一枚開ければ一気に水を取り込めるんだ」と目を丸くし、排水とは別々になる便利な仕組みに「すごいよね」「よくできてるよね」と先人たちの知恵を笑顔でたたえます。

水田は息子が引き継ぎ、バラ栽培が主な仕事になった今でも、田植えの時期は水位チェックへ。受け継いできた田んぼの潤いを未来へつなぎます。



上河内の土地改良記念碑。左側に延びるのは相模川左岸幹線用水路



バラの温室で過ごす時間が至福

今月のえび人

神奈川県相模川左岸土地改良区理事長
柳田喜孝さん
(杉久保南在住・77歳)

県相模川左岸土地改良区理事長に昨年11月に就任。代々南部に田んぼを持つ農家で育つ。米作りのほか、バラ農園も経営。